

大阪湾岸の生物部会活動報告（その2）

（文責：りんくう翔南高等学校 村上智加子）

—2019年度 海岸生物観察会の報告—

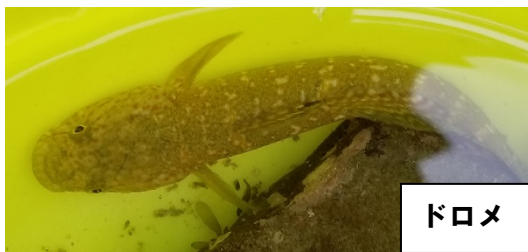
5月18日（土） 岬町深日 長崎海岸



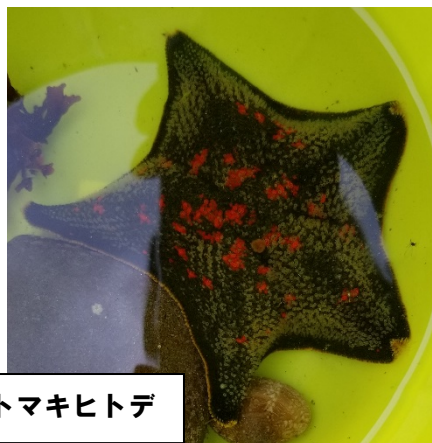
少し曇り気味の天気の中、10時に南海電鉄みさき公園駅に集合しました。昨年の台風の影響で長崎海岸のトイレが使用できず、徒歩20分弱の深日漁港まで行かないといけないという条件でしたが、6校から生徒11名、教員7名、生徒OB2名の参加がありました。毎年参加してくれている学校では勝手知ったるのもので、生徒たちが自主的ににどンドン活動していたのが、印象的でした。

干潮が午後0時半頃だったので、先に昼食をとってから、観察を開始しました。いつものように、あちこちで大阪湾海岸生物研究会のメンバーの方に質問しながら生き物を探しましたが、再集合をして当日見つけた生物のチェックリストを作成する際に急に雨に降られ、約20分ほど堤防の陰に隠れて雨宿りをするというハプニングもありました。

この日観察された生き物は、海藻55種、海綿動物11種、刺胞動物4種、扁形動物3種、紐形動物3種、苔虫動物4種、軟体動物(多板類)6種、軟体動物(腹足類)49種、軟体動物(二枚貝類)13種、軟体動物(頭足類)1種、星口動物1種、環形動物16種、節足動物38種、棘皮動物12種、脊索動物(ホヤ類)7種、脊索動物(魚類)16種（現地で確認された種数）でした。



ドロメ



イトマキヒトデ